

遠隔授業の充実

シンガポール政府からの新型コロナウイルス感染防止対策強化措置により5月22日から遠隔授業を実施しています。

(昨年度の前期は、ほとんどの時間を遠隔授業で行いました。)

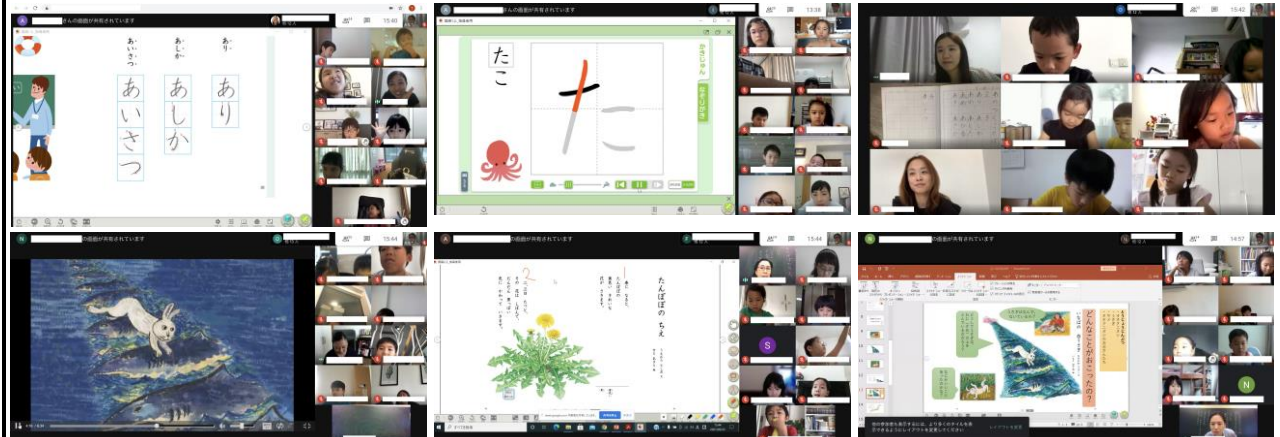
今回の遠隔授業では、前年度の経験をもとに進められた方も多くいて、スムーズに行われたようです。しかし、遠隔授業をもっと充実させるためにはやはり保護者の協力が必要です。授業中は必ず「音声はOFF、映像はON」にして先生の話をよく聞き、発言や質問をするときのみ音声をONにしましょう。遠隔授業の受け方(ルール再確認)を守るように、家庭でも指導をお願いします。

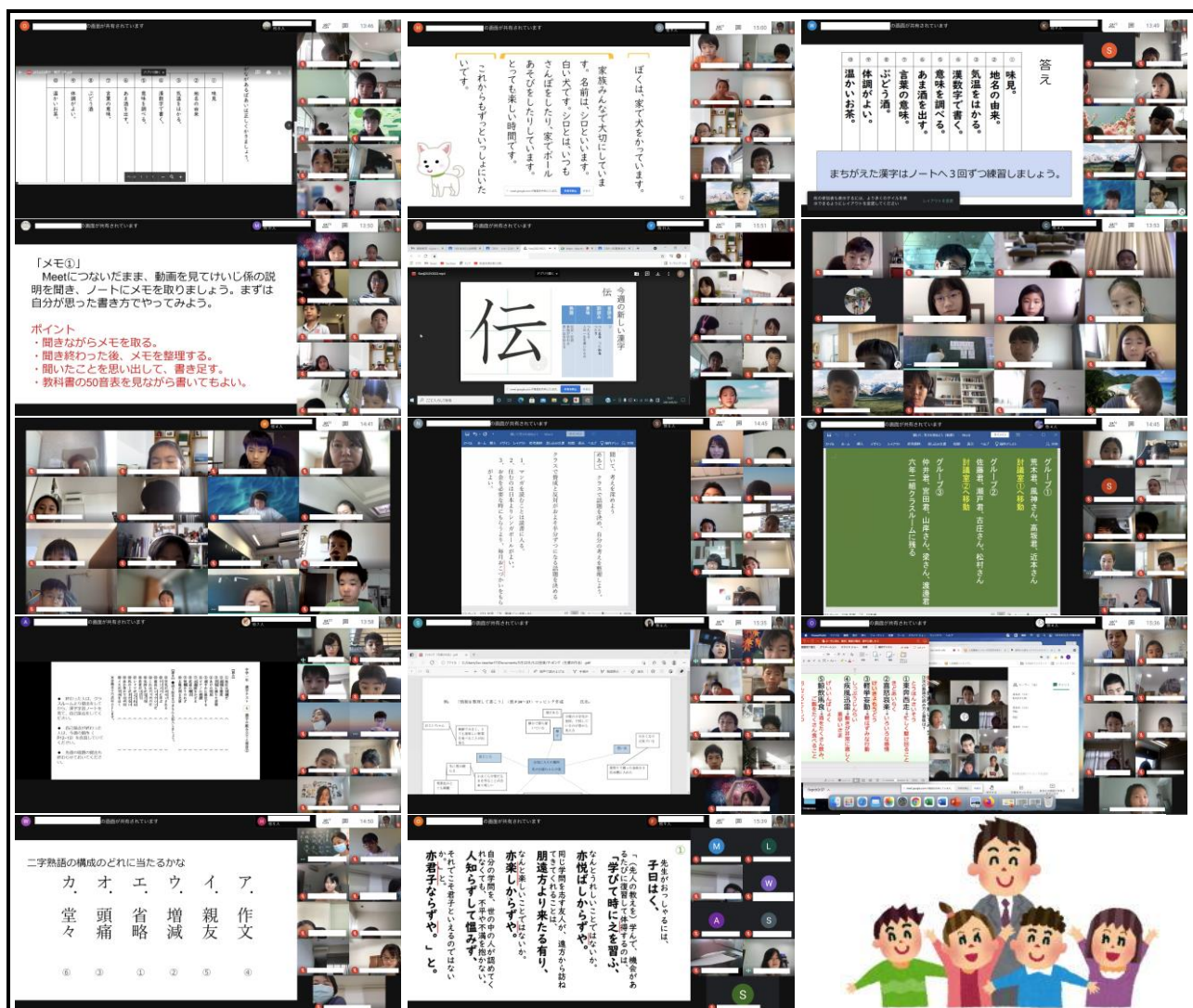


「保護者の方の遠隔授業での支援」↓

- できる限り遠隔授業の様子をそばで見守り、参加態度や学習への支援を行います。
- 不参加(体調不良等)の場合は、担任へ事前に連絡を行い、担任から送付される学習の要点や課題に沿って、後日、家庭学習での支援を行います。

児童生徒の皆さんは、どの学年も熱心に授業を受けていました。先生方も分かりやすい授業を展開しようと、デジタル教科書やICT機器の活用を積極的に取り入れていました。遠隔授業でも「聴くだけ、見るだけ」の受身的な一方向の動画学習とは違い、課題や疑問に対して「答えたり、質問したり」できる**双方向の参加型授業**を目指しています。進級してから間が経っていないですが、学級の仲間や先生方とコミュニケーションを取るためにも積極的に授業に参加していきましょう。児童生徒の皆さんの中には、自分の映像を切っている人がいます。昨年度に比べれば、ほとんどの児童生徒の顔を見ることができそうですが、やはり学年、学級によって差はあります。先生方の指導は、児童生徒の皆さんの顔やしぐさをみることで、授業が分かっているのかそうでないのか、興味があるのかないのかなどを見取ったり感じ取ったりします。また、これは授業ですから顔を出さないのは先生に対して大変失礼な気がします。遠隔授業の目的を再確認し、遠隔授業のあり方をふりかえてみましょう。





対面授業とは違い近くで支援を行うことができないのも事実です。遠隔授業を充実させるためには、児童生徒の側で支援を行っていただく保護者の方の協力も大事になってきます。遠隔授業の目的をしっかりと理解してもらい、児童生徒にとって充実した遠隔授業が展開できますよう、宜しくお願い致します。

目的

- ・日本語学習のペースメーカーとしての役割を果たす。
- ・家庭学習の補助的役割を果たす。
- ・児童生徒の学習意欲を維持伸張する役割を果たす。

5, 6月の行事予定

5月22日～6月19日まで 個人懇談

5月29日 避難訓練（延期）

学校からのお知らせとお願い

本校では、6月19日の個人懇談終了日までは遠隔授業を継続する予定です。対面授業の再開時期については、今後の政府発表に沿う形で検討し、改めてお知らせ致します。ご理解とご協力をお願いいたします。